

平成27年度 行政評価事業別シート

実計対象		■	評価対象	■	新規	□	完了事業	□	ゼロ予算事業	□	担当者	村石 保
全体計画						経費区分	実施計画事業費		内線		3412	
事務事業名		4161 農業後継者対策事業										
所 属		150100 産業振興部・農林課										
施 策		05012200 農業の活性化										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	060103 農林水産業費・農業費・農業振興費										
	事業	030000 農業後継者対策事業										
事業目的						事業概要・効果						
農業従事者の高齢化、後継者不足の状況の中、多様な担い手の確保・育成し、支援していく。						自分で農地を持って農業経営を開始した青年農業者への支援として、青年就農給付金（経営開始型）を給付する。給付金は、収入が不安定な経営開始後の所得を確保するものとして、1人当たり年間150万円（夫婦型は225万円）を最長5年間給付する。 研修期間中の者には、県から青年就農給付金（準備型）が支給される。 どちらの給付金も国からの補助金が財源であるが、そのほかに市独自の支援を行い、新規就農者を確保する。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
1 新規就農に向けて研修を受ける者に月2万円（国の青年就農給付金準備型受給者には月1万5千円）を給付した。8人 1,360,000円 2 青年就農給付金（経営開始型）を給付した。2人 3,000,000円	1 新規就農に向けて研修を受ける者に月2万円（国の青年就農給付金準備型受給者には月1万5千円）を給付した。11人 2,090,000円 2 青年就農給付金（経営開始型）を給付した。3人 4,500,000円
平成26年度 実績	平成27年度 予定
1 新規就農に向けて研修を受ける者に月2万円（国の青年就農給付金準備型受給者には月1万5千円）を給付。21人 3,255,000円 2 青年就農給付金（経営開始型）を給付。6人 9,000,000円	1 新規就農に向けて研修を受ける者に月2万円（国の青年就農給付金準備型受給者には月1万5千円）を給付予定。 2 青年就農給付金（経営開始型）を給付予定。

指 標 名	里親研修開始者					
算 式						単位
年 度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目 標 値	目 標			2	4	5
	実 績			2	4	
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		13,259	16,671
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	9,000	16,500
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		4,259	171
人 員 数 (人)	正規職員	0.5	0.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	3,429.0	4,114.8
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,429.0	4,114.8
市民一人当たりの経費		0.3	0.4
総額		16,688.0	20,785.8

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	51	謝礼
11節 需用費	6	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	13,082	青年就農給付金9,000 新規就農研修給付金3,255 新規就農者支援事業補助金827
その他	120	土地借上料など

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	70	謝礼
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	16,500	青年就農給付金15,000 新規就農研修給付金4,680 新規就農者支援事業補助金980
その他	101	土地借上料など

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評価コメント	地域農業を活性化するために必要不可欠。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	有効
評価コメント	市外・県外からの新規就農者が増えており、成果が上がっている。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	引き続きの支援を行い、新規就農者を確保することが必要。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

新規就農者支援を行うことで、一定の確保ができた。引き続きの支援を行い、新規就農者を確保することが必要である。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
新規就農者に注目されている地域の一つであることは間違いなく、地域農業を活性化するため必要な施策である。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
各種制度のPRや活用により、新規就農者の確保育成に努める。	

外部評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
外部評価コメント	
全国的に就農を考える人が増加している中で、須坂で農業することにどれだけ魅力があるか、良さを積極的にアピールしていく必要がある。行政のみならず人を巻き込み、いろいろな方の力を借りて須坂市の農業を盛り立てていただきたい。	